

ネパール政治ニュース (16年6月) ヘッドライン

政 治	
内政	<p>(1) 4日、オリ首相は、ダハール・マオイスト・センター議長と政権交代に関する紳士協定を結んでいたとして、UML党内から厳しい批判を受けている。</p> <p>(2) 4日、ロヒンギャ族の200人以上が、カトマンズに「違法難民」として定住している。その他、パキスタンから247人、アフガニスタンから61人の難民がカトマンズに定住している。</p> <p>(3) 6日、オリ首相とダハール・マオイスト・センター議長は、9項目合意と国家統一政府の可能性について協議した。</p> <p>(4) 6日、オリ政権の次の政権は誰が率いるのかという議論がされており、UMLとNCからは、マダブ・クマル・ネパールの名前が挙がった。</p> <p>(5) 7日、デウバNC党首は、新憲法の実施に対する責任はNCのものであると発言。</p> <p>(6) 8日、オリ首相は、憲法の実施と復興事業加速のために、オリ首相自身が率いる国家統一政府が必要であると発言。</p> <p>(7) 8日、チャンド派マオイストは、ダンガディ地域の政府役人に対して、複数のプロジェクトから15%の手数料を違法に取ったとして、顔を黒く塗り、辱めを受けさせた。</p> <p>(8) 8日、デウバNC党首は、首相官邸でオリ首相に対して、議会運営が一方向的であり、復興事業に遅れが出ていると批判した。</p> <p>(9) 8日、ギャワリUML幹事長は、オリ内閣は2017年に予定されている総選挙まで続くであろうと発言。</p> <p>(10) 9日、デウバNC党首はオリ首相と会談。デウバNC党首は、オリ首相の政権運営を一方向的で復興事業にも遅れが出ていると批判した。</p> <p>(11) 12日、バブラム・バッタライ元首相は、新党「ナヤ・シャクティ」を結党した。結党大会の参加者は約5万人。</p> <p>(12) 12日、チャンド派はダン郡、カスキ郡、ジャパ郡などでNcellの電波塔に放火をして破壊した。</p> <p>(13) 15日、デウバNC党首は、地震で家屋が全壊した被災者に支給する20万ルピーを一括で行うように政府に働きかけた。ネパール政府は、5万、7万、8万ルピーの3回に分けて支給する予定。</p> <p>(14) 19日、立法議会は、聴聞委員会(15名)を設置した。これにより、滞っていた最高裁判所の判事や22名の大使の任命が行われるようになる見込み。</p> <p>(15) 17日、内閣は、18ヶ月以内に地方選挙、州議会選挙、連邦議会選挙の3つの選挙を行うロードマップを承認した。</p> <p>(16) 19日、ネパール弁護士協会は、マデシ問題の解決が新憲法実施に極</p>

	<p>めて重要として、話し合いが難航している政府・マデシ政党間の協議を進めるように促した。</p> <p>(17) 22日、議会の開発委員会は、地方自治体の再編成について、その境界線を人口、地理、インフラ開発、交通ネットワークを考慮に入れて定めるべきであると述べた。新憲法に基づき、新しい地方自治体の境界線を定める議論が各政党間で行われている。</p> <p>(18) 25日、カマル・タパ外相は、12月半ばに地方選挙を行うことは可能であると述べた。地方選挙を行う時期については、各党で意見の相違がある。</p> <p>(19) 27日、NCは、地震の被災者に支給する住宅再建補助金をめぐり、一括支給すべきとの主張を繰り返し、議会の運営を妨害した。</p> <p>(20) 29日、オリ首相は、与野党間の妥協・合意が成立したのを受け、住宅被災者に対して2分割（1回目15万ルピー、2回目5万ルピー）で支給することを発表した。</p> <p>(21) 30日、モハン・バイディヤ率いるCPN-Maoistは元戦闘員を動員して新しい人民闘争(people's revolt)を行うという政策を承認した。この考えは、CPN-Maoistから分派したチャンド派に近い。</p>
<p>外交</p>	<p>(1) 10日、タパ副首相兼外相は、南アジアの学位授与式出席のため、インドに向け当地を出発。また、4日間の日程の中でタパ外相は、モディ・インド首相への表敬、スワラージ外相との会談を行う予定。なおタパ副首相のインド訪問は、昨年10月に外相就任以来4度目。</p> <p>(2) 8日、外務・英連邦省の高官サイモン・マクドナルドと英国国際開発省の次官がネパールを訪問した。オリ首相、タパ外務大臣、ポウデル財務大臣と会談予定。</p> <p>(3) 9日、SAARCの次官級レベルの会合がカトマンズで行われた。</p> <p>(4) 10日、カマル・タパ副首相兼外相はインドを訪問し、スワラージ外相と会談し、二国間関係についてレビューを今後行うことについて協議した。</p> <p>(5) 22日、ネパール・中国の外務省次官レベルの協議が延期されることになった。協議では、オリ首相の訪中時の合意等をレビューや習近平中国国家主席のネパール訪問について協議される予定だった。</p>